
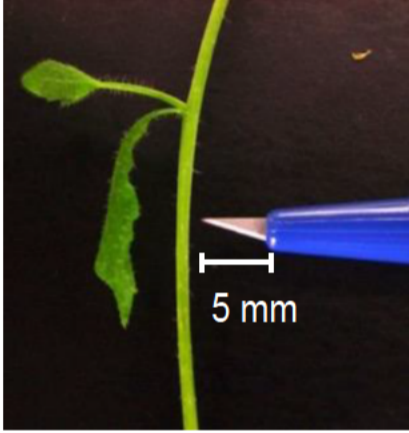



研究室名	植物生理学研究室・先端機器分析センター
------	---------------------

学会名	第55回 植物化学調節学会
演目名	維管束細胞分化誘導系を用いたシロイヌナズナ ANAC 転写因子の解析
発表者	○佐藤 良介 <sup>1</sup> , 松岡 啓太 <sup>1</sup> , ※遠藤 章成 <sup>1</sup> , ※神長 恵太 <sup>1</sup> , 柴田 恭美 <sup>1</sup> , 近藤 侑貴 <sup>2</sup> , 佐藤 忍 <sup>3</sup> , 朝比奈 雅志 <sup>1,4</sup> <sup>1</sup> ; 帝京大・理工・バイオ、 <sup>2</sup> ; 神戸大・理学、 <sup>3</sup> ; 筑波大・生命環境、 <sup>4</sup> ; 帝京大・先端機器分析セ、 (O; は発表者、※; 卒研生または大学院生、アンダーライン; 本学教職員、研究員)
内容	<p>これまでに我々は、シロイヌナズナの切断花茎の癒合や胚軸間接ぎ木の過程で、切断上部に蓄積したオーキシンにより誘導された ANAC071・ANAC096・ANAC011(以下 ANAC 転写因子)が癒合過程の細胞分裂や維管束組織の再生・再分化に関わること、ANAC 転写因子は、葉を用いた維管束誘導系(VISUAL)において、葉肉細胞から形成層細胞への転換に必要なことを報告した。また、マイクロアレイ解析の結果から、ANAC 転写因子の下流候補遺伝子群に、Dof 転写因子の一種が含まれることも報告した。本研究では、ANAC・Dof 転写因子に関する変異体や形質転換株の子葉を用いた VISUAL 試験を行うとともに、新たに胚軸を用いた維管束細胞分化誘導試験を行った。</p> <p>なお本研究の一部は、科学研究費補助金、私学事業団特別補助(大学間連携等による共同研究)による支援を受けて行ったものである。</p>
関連画像	<p style="text-align: center;"><u>Flowering stem was cut in half of its diameter with micro-surgical knife.</u></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p><i>Arabidopsis thaliana</i></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 mm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>under stereo-microscope</p> </div> </div>